

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	そら空	公表日	R8年 6月 11日
------	-----	-----	------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		集中を要する活動時は発達段階や活動内容に応じて環境を分け小学生は2階、児童発達支援の児童は1階プレイルームで活動し、安心して落ち着いて取り組める環境づくりを行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基準を上回る職員配置を意識した支援体制を整えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	バリアフリー化には至っていませんが、時間や一日の流れが分かりやすいよう掲示を行い、安心して過ごせる環境づくりに努めています。	1階トイレ前の出入口に段差があるため、つまずき防止の声掛けを行い、怪我のないよう努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		シャワールームを設置し、快適に過ごせる環境づくりを行っています。また、玩具やドアには光触媒を塗布し、衛生面にも配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		2階に休養やクールダウンができるスペースを設けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			ミーティング等で業務改善について話し合いを行っていますが、振り返りが不十分な点もあるため、改善や情報共有を行い、より良い支援につなげていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			ミーティング時に課題や改善点を共有し、より良い支援につなげられるよう努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に1~2回ミーティングを行い、職員同士で意見を出し合いながら改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		現時点では第三者委員会等の外部機関との連携はありませんが、今後は必要に応じて連携し、対応していきたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的内部研修を実施し、支援の質の向上に努めています。	外部研修についても日程を調整しながら受講し、支援の質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		保護者との面談時に伺ったご意見やご要望、お子さまのご家庭での様子などを丁寧に聞き、支援計画の作成や日々の活動内容に取り入れています。	今後も、アセスメントやモニタリングを通してニーズや課題を客観的に分析し、その内容を支援計画へ適切に反映できるよう努めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員と児童発達支援管理責任者で協議し、共通理解のもと計画を作成しています。	今後も検討を重ねてまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			職員間で計画を共有し、計画に基づいた支援・療育ができるよう努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			今後も各種ツールを活用し、適切に確認を行えるよう努めてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			今後も研鑽を重ね、多角的な視点を踏まえた作成が行えるよう努めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		プログラムの立案に際し、より良い方向性となるよう関係職員間で話し合いを行っております。	一人ひとりの意見を活かしながらチームで検討できる体制づくりに努めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			プログラム内容が固定化しないよう、全員で検討しながらステップアップにつながる内容となるよう努めてまいります。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		主に集団活動を中心に実施していますが、必要に応じて個別活動も取り入れております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			連携が不十分な点もあるため、情報共有の徹底に努めてまいります。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		気づきブードの活用は行っているものの、支援終了後の振り返りや課題共有の機会が十分でないため、今後は全体での振り返りと情報共有の徹底に努めてまいります。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		記録は行っているものの、検証・改善まで十分に活かされていない面があるため、今後は支援の検証および改善に努めてまいります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		面談を実施しております。	今後も研鑽を重ね、多角的な視点を踏まえた作成が行えるよう努めてまいります。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		常に意識して取り組んでおります。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	年度初めには、連携体制の構築に向けて教育機関へ電話にてご挨拶を行っております。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		園の様子については、日々情報共有を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		難しい場合もありますが、連携を図れるよう努めてまいります。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4			必要に応じて連携が図れるよう、今後も検討してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	近隣の他事業所と交流を行い、交通安全や夏祭り等の活動に参加しております。	地域の幼稚園・保育所・こども園との交流については、現状では実現が難しい状況です。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		面談時や日常の気づきの際には、保護者との共通理解が図れるよう努めております。		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		家族支援プログラムについては、今後検討してまいります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を実施しております。	今後も丁寧な説明を心がけてまいります。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		ご家族との面談時にモニタリングを行い、ご意見を伺いながら、利用児童の思いを踏まえた個別支援計画の作成に努めております。			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		支援内容について説明を行い、ご同意をいただいております。			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的な面談に加え、必要に応じて随時面談を実施し、連絡帳・手紙・電話・口頭等を通じて保護者との情報共有および連携に努めております。			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		親睦会を実施しており、保護者やご兄弟、祖父母の方にもご参加いただき、調理やゲーム等の活動を通じて交流を図りながら、お子様の様子や困りごと等について共有する機会としています。	アンケートにおける貴重なご意見を踏まえ、今後の改善に向けて検討してまいります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		迅速に対応できるよう心がけております。	今後も安心していただけるよう、迅速かつ丁寧な対応に努めてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		SNS等を通じて情報発信を行っております。	今後も活動内容の発信に努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			今後も十分に注意してまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		事務連絡や案内については、口頭だけでなく書面でも通知するようにし、周知および理解のしやすさに配慮して対応しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	現時点では地域住民との積極的な交流は行えていませんが、散歩で立ち寄られる方より工作材料の提供などの関わりがあります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		マニュアルの周知が不十分な点があるため、今後は周知の徹底に努めてまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	定期的に訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	契約時には、お子様の状況確認を行うよう心がけております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食物アレルギーについては契約時に聞き取りを行い、配慮が必要な場合は職員間で情報共有し周知徹底しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		職員間で話し合いながら必要な訓練を検討・実施し、実施後は振り返りと反省を適切に行ってまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		周知が不十分であったため、今後は徹底して行ってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットについては、職員間で共有を行っております。	今後も再発防止策について検討を継続してまいります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		外部研修にも参加しております。	外部研修への参加機会を増やしていけるよう努めてまいります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3	外部研修を活用し、支援力の向上に努めております。	身体拘束が想定される場合の対応については、放課後等デイサービス計画への記載を含め、適切な対応方法を検討してまいります。	